

# 石川県の障がい者サッカー

## 7つの障がい者サッカー

障がい者サッカーと一言で言っても、実はその障害の種類によって、7つの競技団体があります(右記)。そして、この7団体を統括し、活動をサポートする団体が「日本障がい者サッカー連盟」(JIFF)です。日本障がい者サッカー連盟のHPには、この7つのサッカーを紹介する動画があります。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.jiff.football/about/7groups/>

石川県では、2020年3月末現在、「電動車椅子サッカー」「知的障がいサッカー」「ブラインドサッカー」「ソーシャルフットボール」が活動しています。

## 7つの競技団体

- ・日本アンプティサッカー協会 (切断障がい)
- ・日本CPサッカー協会 (脳性麻痺)
- ・日本ソーシャルフットボール協会 (精神障がい)
- ・日本知的障がいサッカー連盟 (知的障がい)
- ・日本電動車椅子サッカー協会 (電動車椅子)
- ・日本ブラインドサッカー協会 (視覚障がい)
- ・日本ろう者サッカー協会 (聴覚障がい)

## 金沢ベストブラザーズ (電動車椅子サッカー)



### <競技の概要>

電動車椅子サッカーとは、電動車椅子の前にフットガードを取り付けて行うサッカーです。自立した歩行ができないなど比較的重度の障害を持った選手が多く、ジョイスティック型のコントローラーを手や顎などで操りプレーします。男女混合の4人制で、主にバスケットコートを使用します。国際的な呼称は「Powerchair Football」(パワーチェアフットボール)です。

### <チーム紹介>



金沢ベストブラザーズは、1995年創立の長い歴史のあるチームです。昨年は、ドリームカップという全国規模の大会で準優勝しています。「楽しく勝つ」をモットーに、今年こそ全国制覇をと、選手・スタッフ一同が意欲を燃やしています。

選手・スタッフの個性が生きる、全員総活躍的なチームです。

- メンバー数  
選手8名、スタッフ18名



- 練習日  
月2回程度、日曜日、  
金沢市障害者高齢者体育館にて
- 主な大会  
パワーチェアフットボール  
クラブチャンピオンシップジャパン  
真の日本一を決める大会  
ドリームカップ 等
- 問い合わせ先  
kbb@kbb.fortm.net



## FC.TONアグレード (知的障がい者サッカー)



### <競技の概要>

ピッチの大きさやルールはFIFAサッカールールと全く同じです。北信越ではまだ3チームしかありませんが、全国には約5,500人のプレーヤーがいます。知的障がい者はひたむきなサッカーをします。いわゆる汚いプレーがほとんどなく、心洗われる爽やかさがあるサッカーです。秋季国体開催地で国体終了後に開催される全国障害者スポーツ大会の正式種目です。

### <チーム紹介>



2017年1月から県内の特別支援学校の選抜サッカーチームが活動してきました。FC.TONアグレードは、そこを巣立った卒業生たちの活動の場として2019年4月に発足しました「アグレード」はスペイン語やポルトガル語

で「喜び」という意味です。知的に障がいのある方も、定期的にサッカーができる喜びを味わってほしい、という思いで名付けました。



- メンバー数  
選手12名、スタッフ2名
- 練習日  
月6回程度、土曜日・日曜日  
まめだ簡易グラウンド  
森本子どもグラウンド など
- 主な大会  
全国障害者スポーツ大会予選会
- 問い合わせ先  
ton1973@nifty.com  
TEL 076-218-9971 FC.TON事務所



## ツエーゲン金沢BFC (ブラインドサッカー)



### <競技の概要>

ブラインドサッカーは、アイマスクをつけてボールの音と声のコミュニケーションで行う5人制サッカーです。フットサルと同じコートでプレーしますが、転がると音の出るボールの使用、両サイドライン上に高さ1mほどのフェンスが立つ、ガイドがボールの後ろにいて位置を教える、ボールを持った相手に向かっていく時に「ポイ！」と声を出すなど、ルールが工夫されています。パラリンピックの正式種目です。

## <チーム紹介>



ツエーゲン金沢BFCは、2018年に創立し、体験会等を重ねながら、少しずつ仲間を増やしてきました。昨年は初めて公式戦にも出場しました。「障がいがあってもなくても全ての人と一緒にスポーツを楽しみ、地域の輪(和)の中で輝ける」ことを大切に、障がい者と健常者が当たり前で混ざり合う社会を実現することを理念として活動しています。



- メンバー数  
28名(サポートスタッフ含む)
- 練習日  
第2・第4日曜日、主にS-スタジアム
- 主な大会  
ブラインドサッカー-中日本リーグ  
日本選手権
- 問い合わせ先  
zweigenkanazawa.bfc@gmail.com



## ルミナス ソーシャルフットボール ファミリースクール



### <競技の概要>

ソーシャルフットボールとは、精神障がいを持った選手がプレーするフットサルで、基本的には通常のフットサルのルールに準じていますが、女子選手を含む場合に限り、最大6人がコートに立つことができます。

もともと「ソーシャルフットボール」の名称は、イタリア語のcalciosocialeに由来します。これは、年齢・性別・人種・貧困・家庭環境・障がいなど、あらゆる違いを超えて社会連帯を目指したフットボール文化のことを意味します。

## <スクール紹介>



ルミナスソーシャルフットボールファミリースクールは、昨年10月にスタートしました。現在は、ソーシャルフットボールのすそ野拡大を目指し、スクール形式で行っています。精神疾患の方に限らず、人見知りや不登校、コミュニケーションをとることが苦手な方もフットボールの魅力を知ってもらい、家族で笑顔あふれる時、を一緒に過ごせたら…との思いで活動しています。

ず、人見知りや不登校、コミュニケーションをとることが苦手な方もフットボールの魅力を知ってもらい、家族で笑顔あふれる時、を一緒に過ごせたら…との思いで活動しています。



- 参加者数  
これまでに約250名(医療従事者含む)
- 練習日  
毎週水 18:30~20:00 ジョイナス金沢
- 主な活動  
上記の他、フットサルFリーグ2部ヴィンセドール白山との提携による各種イベント
- 問い合わせ先  
TEL 080-7060-1128  
LINE@ @joinuskanazawa



この記事は、特定非営利活動法人FC.TONの広報誌「NEW-TON」2020年3月号に特集として掲載したものを改変したものです。

「NEW-TON」についてのお問合せは、FC.TON事務所までお願いします。

ton1973@nifty.com  
TEL 076-218-9971

記事中の<競技の概要>の部分については、公益財団法人日本サッカー協会発行「障がい者サッカーHAND BOOK」から引用させていただきました。



### 2020 伝統と変革...

●特集  
「石川県の障がい者サッカー」



「石川県の障がい者サッカー」



トヨタ・トヨタ・トヨタ  
トヨタ・トヨタ・トヨタ

